

令和2(2020)年度入学試験問題出題のねらい (一般選抜(A方式))

中村学園大学〔栄養科学部栄養科学科〕

【英 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した英語の基礎学力・運用力をみる問題で構成。コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱの範囲から、まんべんなく出題している。

第1問 誤りやすい単語の正しい発音・アクセントの理解を問う。

第2問 文法・語彙・語法の基礎的な知識を問う。

第3問 英文中の語の意味をつかみ、正しい同意語を選ぶ語彙力を問う。

第4問 2人の対話文の中で前の発話とのつながりから内容を推測する力、および、文法・語彙・語法の基礎知識を用いた英文の構成力を問う。

第5問 会話の流れを正確に把握する力、情報を整理して英語の問いに答える力を問う。

第6問 自発的注意と受動的注意についての英文を用いて、長文の読解力・内容把握力を問う。内容把握以外の瑣末な知識は問わない。

【国 語】

〈出題のねらい〉

高校で学習した基礎力・読解力の定着度を確認する問題を出題している。出題は、国語総合(漢文を除く)の範囲である。

第1問 現代文・評論 酒井直樹『日本思想という問題』からの出題。

漢字の書き取り、語の読みといった基本的な知識のほか、空欄補充、傍線部の説明、内容合致といった問題で文章を論理的に読み取る力を問う。

第2問 古文『源氏物語』からの出題。

古語の読み、語句の意味、文法といった基本的な知識のほか、傍線部の解釈、傍線部の説明、登場人物の意図や心情の把握といった読解問題で文章を丁寧に読み取る力を問う。

【数 学】

〈出題のねらい〉

3大問で構成されており、センター試験よりやや易しいレベルの問題である。各分野から偏りなく出題されており、教科書の基礎・基本が確実に身につけているかどうかを問うている。

第1問 2次関数、データの分析、図形と計量・図形の性質、三角関数の分野からの出題。(1)は2変数の関数の最大値・最小値を求める問題。(2)は散布図の読み取りについての問題。(3)は線分の比と三角形の面積を求める問題。(4)は加法定理と三角関数の合成を用いて等式を満たす θ の値を求める問題。

第2問 整数の性質の分野からの出題。素因数分解、1次不定方程式、倍数、 n 進法に関する問題。

第3問 微分法・積分法の分野からの出題。条件を満たす接線の方程式や、直線と曲線で囲まれた図形の面積の比などを求める問題。

【化学基礎・化学】

〈出題のねらい〉

化学基礎、化学の基本的な内容を中心に、各分野の内容を幅広くみる問題で構成している。

第1問 化学基礎の中から、「化学と人間生活」「物質の構成」の分野の基礎的内容について、小問形式で問う。

第2問 化学基礎の中から、「化学結合」「物質量と化学反応式」などについて、小問、および1つのテーマで3問程度の内容を問う。

第3問 化学の「物質の状態」「物質の変化」「無機物質」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

第4問 化学の「有機化合物」の分野から、小問形式やテーマ問題で幅広い内容について問う。

【生物基礎・生物】

〈出題のねらい〉

栄養科学部は、生物基礎の全分野、および生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の分野から、基本的な内容を中心に出題する。

教育学部は、生物基礎の全分野から、基本的な内容を中心に出題する。なお、第1問～第3問は、栄養科学部と教育学部とで共通問題である。

第1問 「小問集合」(生物基礎)

生物基礎の全分野から、小問形式で出題する。文章選択や語句選択、数値選択(計算)などで、様々な観点から基本的な知識や理解を問う。

第2問 「生物と遺伝子」(生物基礎)

生物基礎の「生物と遺伝子」の分野の内容を中心に出題する。本問では、光学顕微鏡を使った細胞の観察や、細胞分画法などについて、数値計算など、基本的な知識や理解を問う。

第3問 「生物の体内環境の維持」(生物基礎)

生物基礎の「生物の体内環境の維持」の分野の内容を中心に出題する。本問では、ヒトの様々な器官について、そのはたらきを様々な観点から出題し、基本的な知識や理解を問う。

第4問 「生命現象と物質」・「生殖と発生」(生物)

生物の「生命現象と物質」・「生殖と発生」の各分野の内容をそれぞれ中間形式で出題する。本問では、光合成の過程や動物の配偶子形成について、基本的な知識や理解を問う。